

目標達成計画

作成日：平成 25年 4月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方のニーズを把握できていない。話し合いの内容が事業所の内部のことになることが多く、地域の方の意見がなかなか出にくい。 ・職員が参加したことがないので、どういう話し合いをしているのかわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の意見も活発にもらえるような、または興味が持てるような話し合いとなる。 ・職員が会議に参加し、グループホームを理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策や地域交流をテーマにして意見をいただく。 ・認知症について知っていただくために、事例発表や事故報告をすることにより、意見を交わす。 ・毎回、職員が参加する。 ・全職員、議事録を読み、内容を把握する。 	12ヶ月
2	35	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間の避難訓練を実施していない。 ・風水害、地震の訓練を実施していない。 ・マニュアルはあるが全職員に周知されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間の避難訓練の実施が出来る。 ・マニュアルを見直し、災害時の対応等について職員が理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回の防災訓練等の実施。(6月、9月、12月、3月) ・6月は、風水害のマニュアルの勉強会。 ・9月は、夜間の避難訓練、反省会を実施する。 ・12月は、地震の勉強会。 ・3月は、火災時の避難訓練、反省会を実施する。 	12ヶ月
3	36	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの人格を尊重する事、人権を擁護する事は勉強しているが、実践に十分に生かされていない場面もある。 ・職員間の関係が、マンネリ化していてお互いに褒め合うことや注意をすることをしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の小さなことから、利用者一人ひとりの人格が尊重される。 ・職員間で気がついたことはお互いに意図的に伝えあうことが出来る。(良いことも、悪いことも) 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者本人の思いを伺う。 ・これから行おうとする事を、利用者一人一人が納得のいくように伝える。 ・職員間でなんでも言い合える仲になるには、相手を褒めることから始めよう。(6割) ・良いケアや声かけができた時、タイミング良く誉める。 ・誉めることで関係性を良くし、利用者の尊厳が保たれていないような場面に気付いた時、伝えるようにする。(4割) 	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。